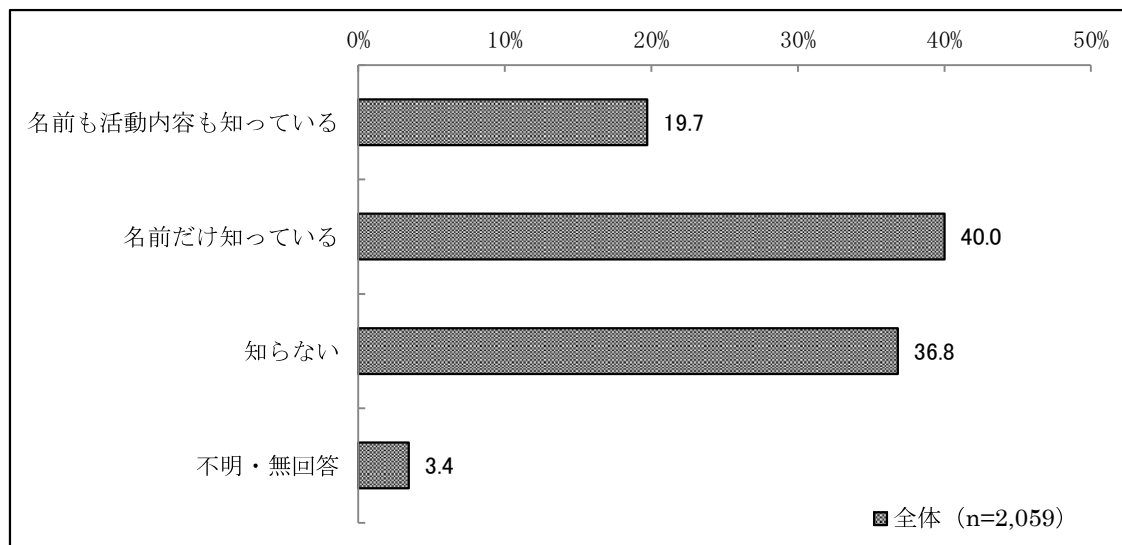


3. 新潟市のコミュニティについて

(1) 地域コミュニティ協議会の認知度

問15 あなたは地域コミュニティ協議会について知っていますか。
(○は1つだけ)



— 約6割が地域コミュニティ協議会を『知っている』 —

【全体結果】

地域コミュニティ協議会の認知度について、「名前も活動内容も知っている」(19.7%)で約2割、「名前だけ知っている」(40.0%)で約4割。「名前も活動内容も知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた『知っている』は、約6割となった。「知らない」(36.8%)は3割を超えた。

【属性別結果】(図3-1参照)

①地区別

『知っている』と答えた割合は、南区(67.0%)で最も高く、中央区(54.9%)で最も低い。東区、秋葉区、南区、西区、西蒲区で6割を超えた。

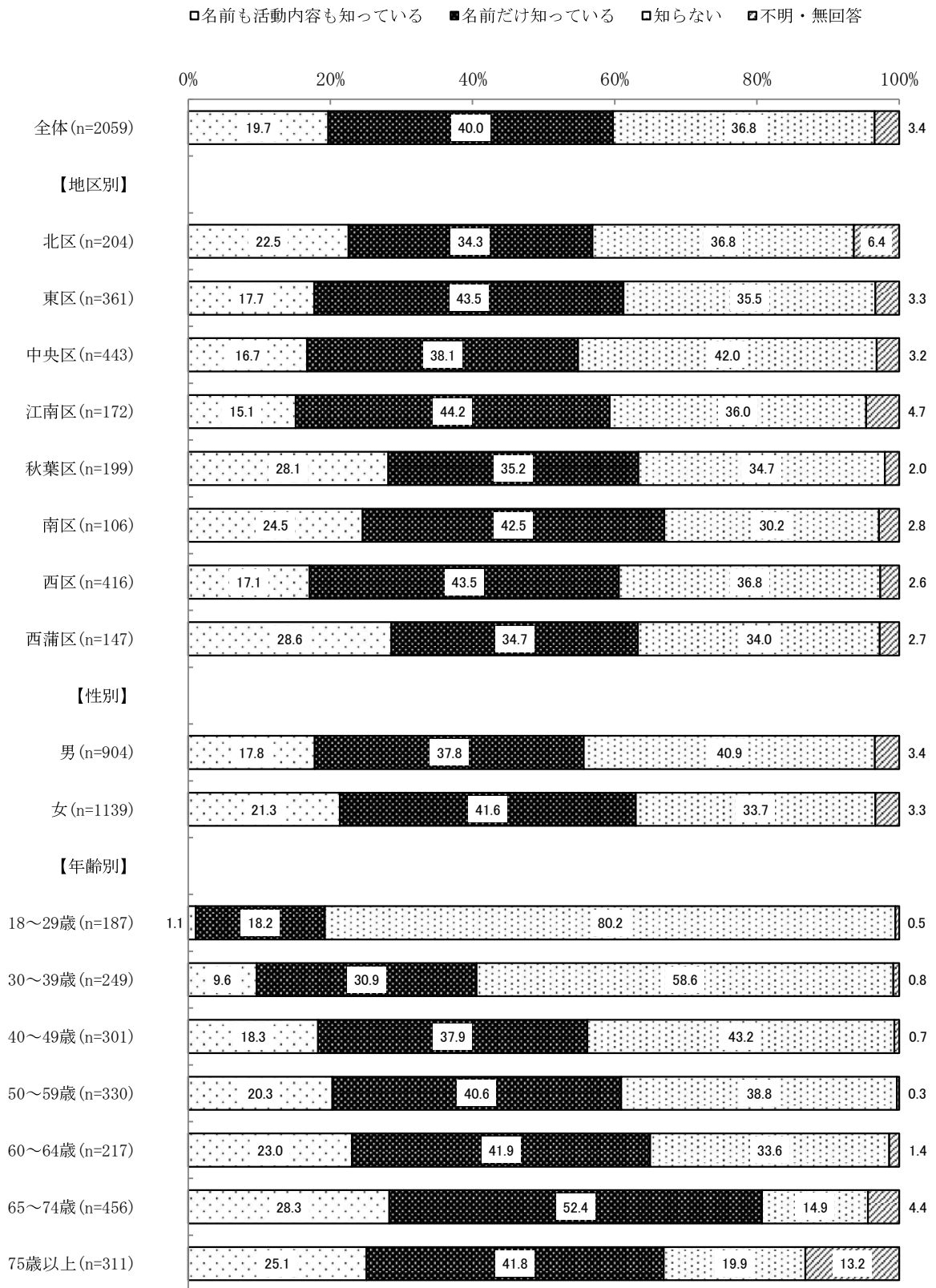
②性別

『知っている』は、男性(55.6%)と比べて女性(62.9%)で割合が高い。

③年齢別

『知っている』の割合は、65～74歳(80.7%)で最も高い。概ね年齢が上がるほど、割合が高い傾向がみられる。18～29歳では19.3%で、約2割にとどまった。

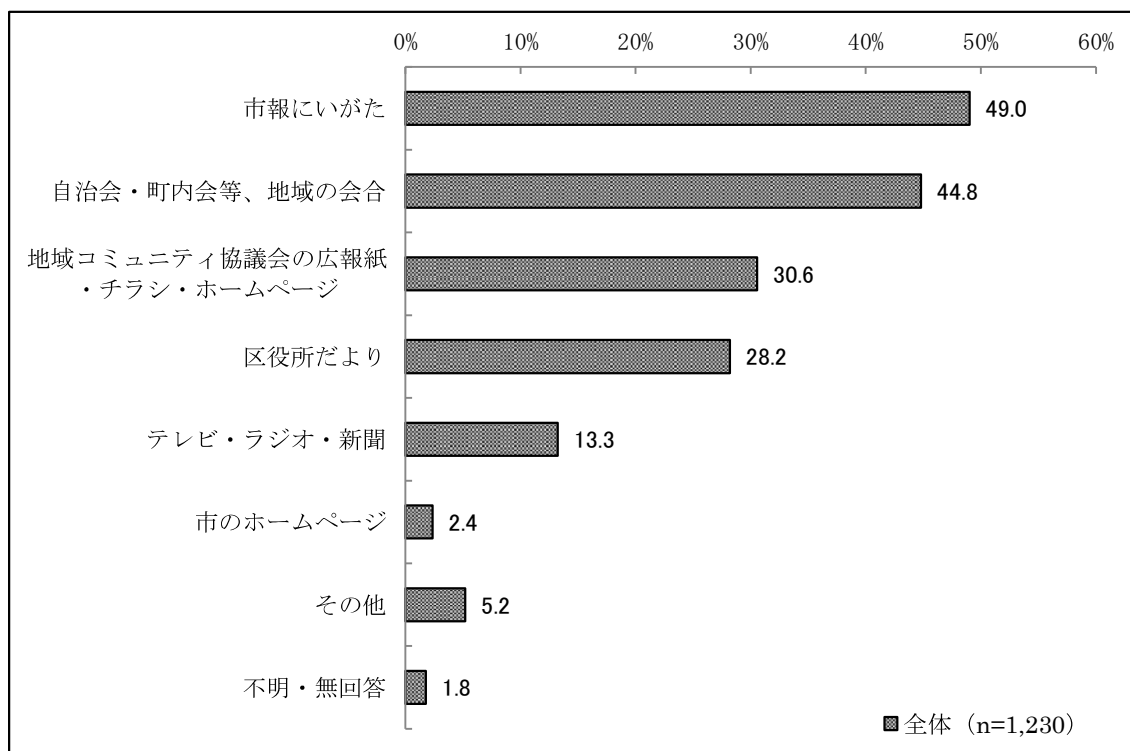
図 3-1 地域コミュニティ協議会の認知度（地区別/性別/年齢別）



(2) 地域コミュニティ協議会についての情報の入手先

(問15で「1」(名前も活動内容も知っている)「2」(名前だけ知っている)と答えた方のみ)

問16 あなたは地域コミュニティ協議会についての情報を何から入手しましたか。
(○はいくつでも)



— 半数近くが「市報にいがた」と回答 —

【全体結果】

全体では、「市報にいがた」(49.0%)と答えた割合が約5割で、最も高い。次いで「自治会・町内会等、地域の会合」(44.8%)、「地域コミュニティ協議会の広報誌・チラシ・ホームページ」(30.6%)、「区役所だより」(28.2%)の順に続く。

【属性別結果】(図3-2参照)

①地区別

東区(55.7%)、中央区(52.3%)、西区(55.2%)で、「市報にいがた」と答えた割合が5割を超えた。北区、南区では、「自治会・町内会等、地域の会合」(各56.0%、47.9%)、秋葉区では、「地域コミュニティ協議会の広報誌・チラシ・ホームページ」(46.8%)と答えた割合が最も高い。西蒲区では、「自治会・町内会等、地域の会合」「地域コミュニティ協議会の広報誌・チラシ・ホームページ」(共に37.6%)の両方が最も高い。

②性別

「地域コミュニティ協議会の広報誌・チラシ・ホームページ」では、男性（27.6%）と比べて女性（32.9%）で割合が高い。

③年齢別

40代、60～64歳を除いた年齢で「市報にいがた」と答えた割合が最も高い。40代、60～64歳では、「自治会・町内会等、地域の会合」（各42.0%、51.1%）と答えた割合が最も高い。18～29歳で「テレビ・ラジオ・新聞」（30.6%）と答えた割合が、他の年代と比べて高い。

図 3-2 地域コミュニティ協議会の情報の入手先（地区別/性別/年齢別） 1/2

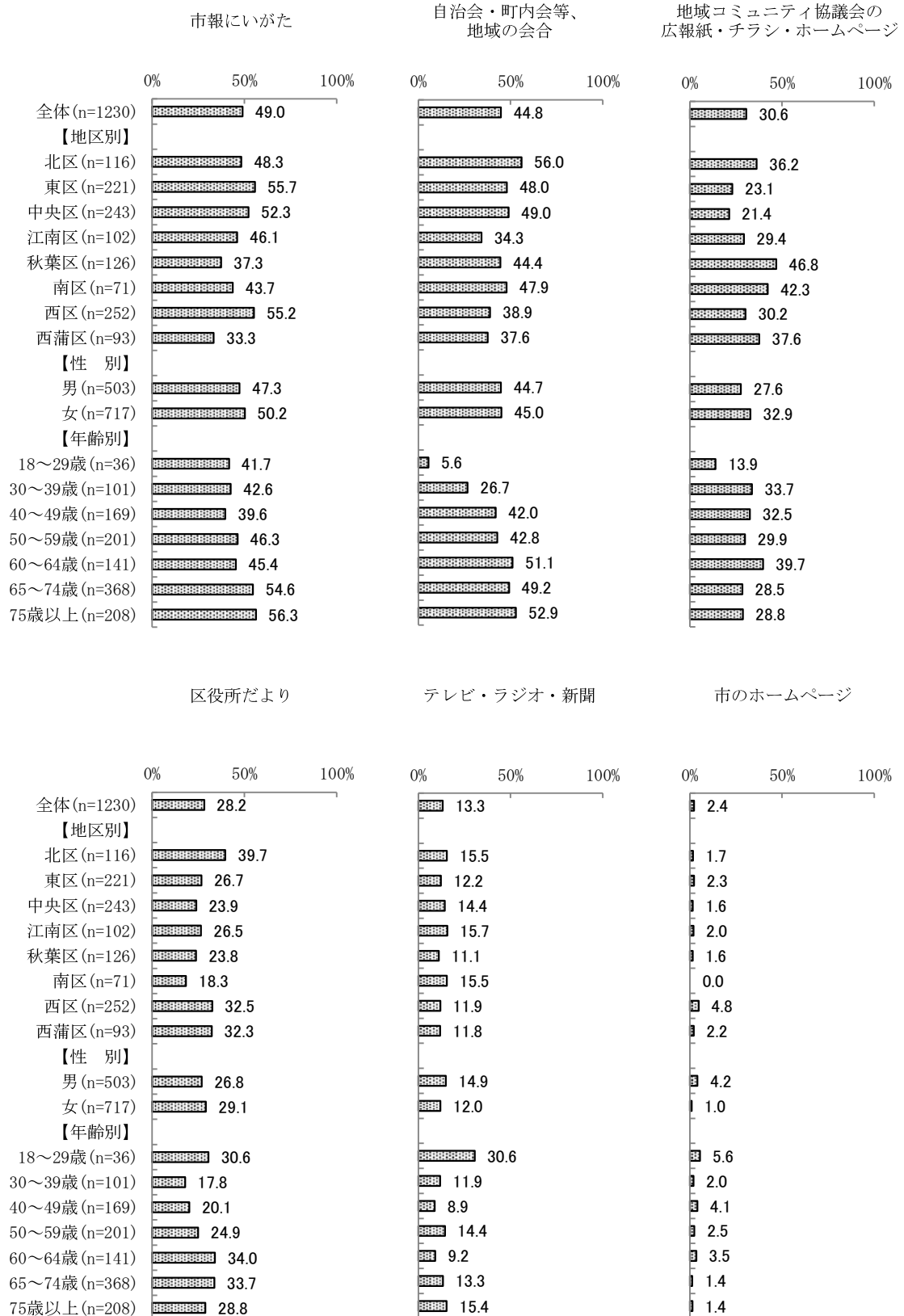
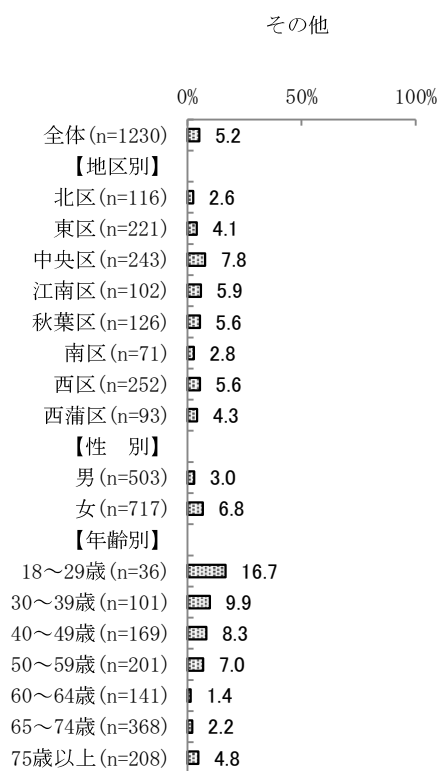
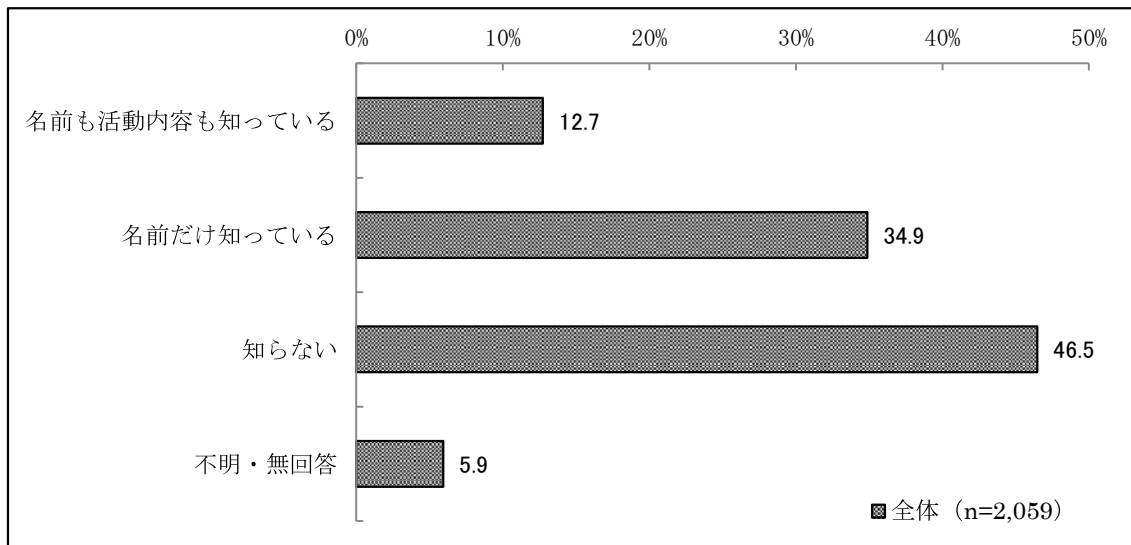


図 3-2 地域コミュニティ協議会の情報の入手先（地区別/性別/年齢別） 2/2



(3) 区自治協議会の認知度

問17 あなたは区自治協議会について知っていますか。(○は1つだけ)



— 5割弱が区自治協議会を『知っている』 —

【全体結果】

区自治協議会の認知度について、「名前も活動内容も知っている」が12.7%、「名前だけ知っている」が34.9%。「名前も活動内容も知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた『知っている』は、5割弱となった。「知らない」(46.5%)は4割を超えた。

【属性別結果】(図3-1参照)

①地区別

『知っている』と答えた割合は、南区(59.4%)で最も高く、中央区(40.4%)で最も低い。南区、西蒲区で『知っている』が6割弱で、他の地区と比べて割合が高い。

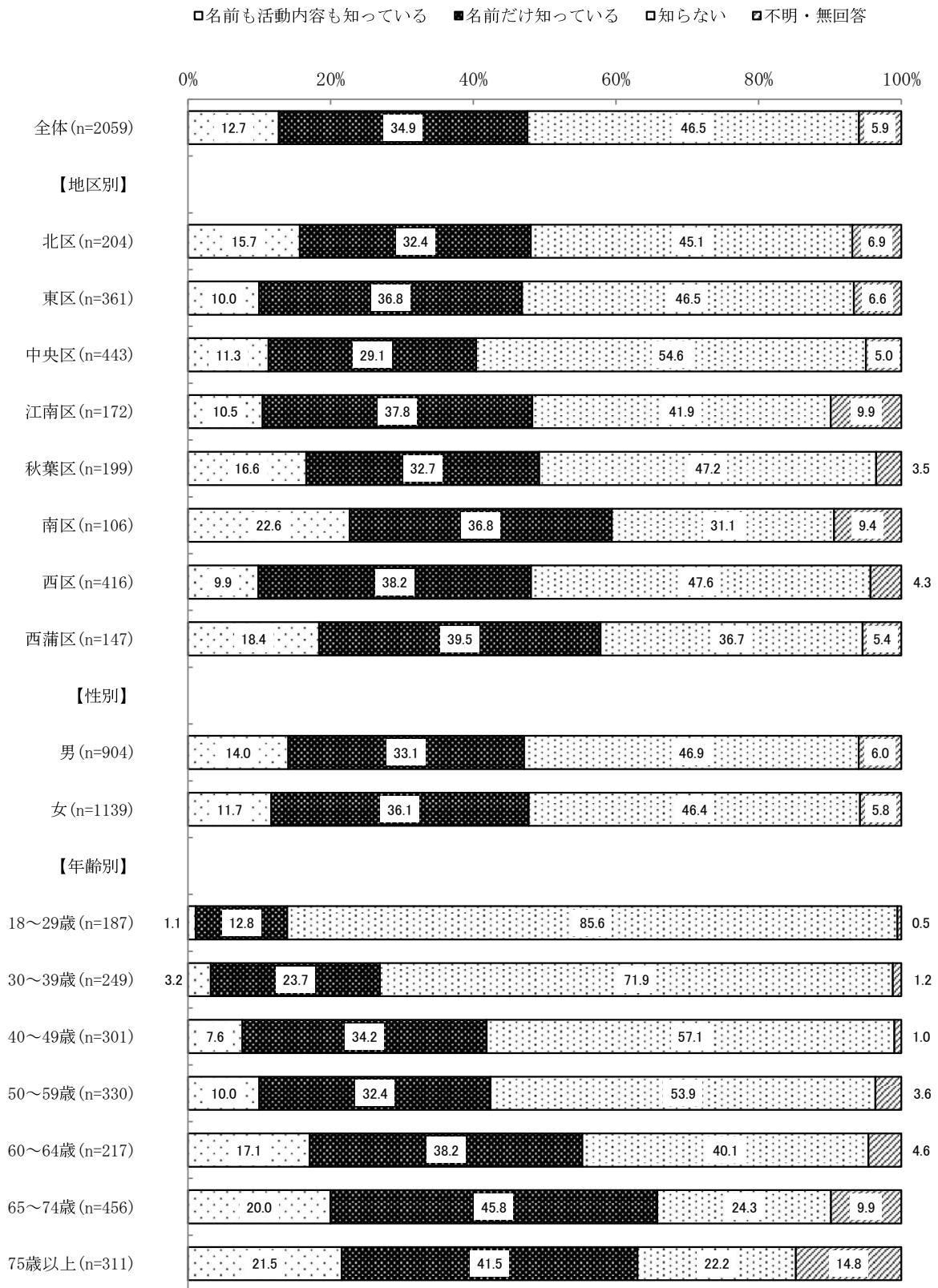
②性別

性別による差は、ほぼみられない。

③年齢別

『知っている』の割合は、65～74歳(65.8%)で最も高い。概ね年齢が上がるほど、割合が高い傾向がみられる。18～29歳では13.9%で、1割強にとどまった。

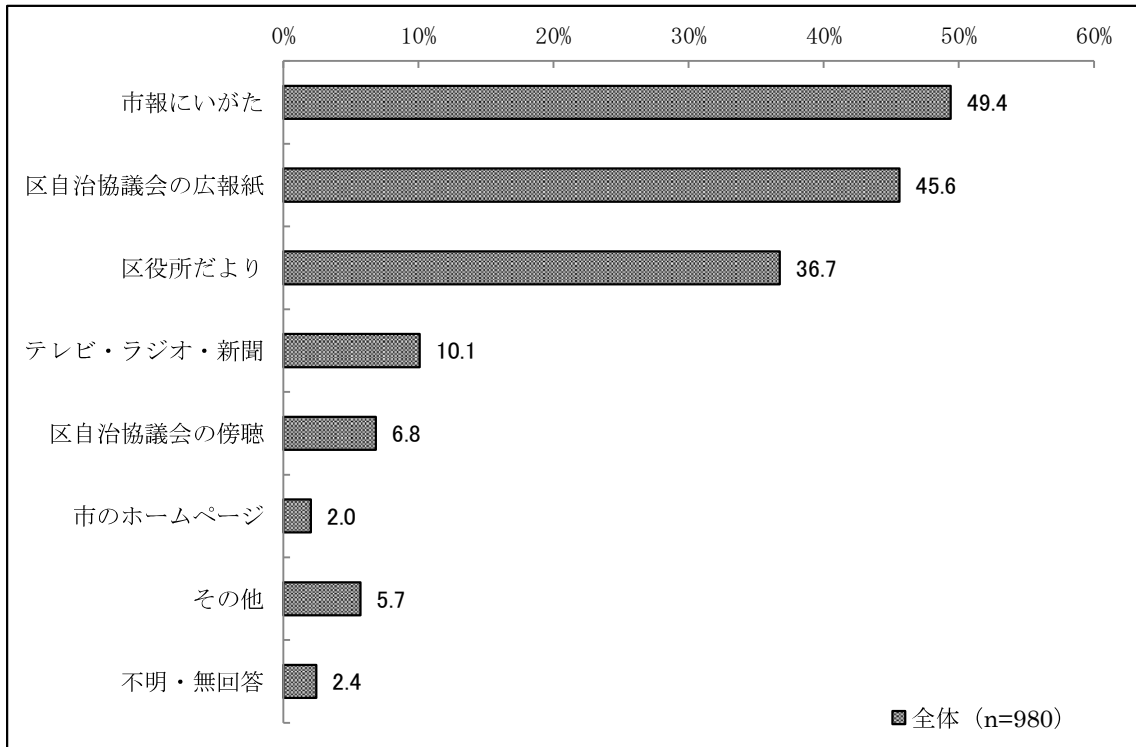
図 3-3 区自治協議会の認知度（地区別/性別/年齢別）



(4) 区自治協議会についての情報の入手先

(問17で「1」(名前も活動内容も知っている)「2」(名前だけ知っている)と答えた方のみ)

問18 あなたは区自治協議会についての情報を何から入手しましたか。
(○はいくつでも)



— 半数近くが「市報にいがた」と回答 —

【全体結果】

全体では、「市報にいがた」(49.4%)と答えた割合が約5割で、最も高い。次いで「区自治協議会の広報誌」(45.6%)、「区役所だより」(36.7%)、「テレビ・ラジオ・新聞」(10.1%)の順に続く。

【属性別結果】(図3-4参照)

①地区別

北区、東区、中央区、西区では、「市報にいがた」(各51.0%、52.7%、58.1%、52.5%)と答えた割合が最も高く、江南区、秋葉区、南区、西蒲区では、「区自治協議会の広報誌」(各44.6%、59.2%、57.1%、44.7%)と答えた割合が最も高い。

②性別

「テレビ・ラジオ・新聞」では、女性(7.7%)と比べて男性(13.1%)で割合がやや高い。

③年齢別

40代、50代では、「区自治協議会の広報誌」（各45.2%、47.9%）と答えた割合が最も高く、60～64歳では、「区自治協議会の広報誌」「区役所だより」（共に45.8%）と答えた割合が最も高い。その他の年齢は、「市報にいがた」と答えた割合が最も高い。18～29歳では、「テレビ・ラジオ・新聞」（30.8%）と答えた割合が、他の年代と比べて突出している。

図 3-4 区自治協議会の情報の入手先（地区別/性別/年齢別） 1/2

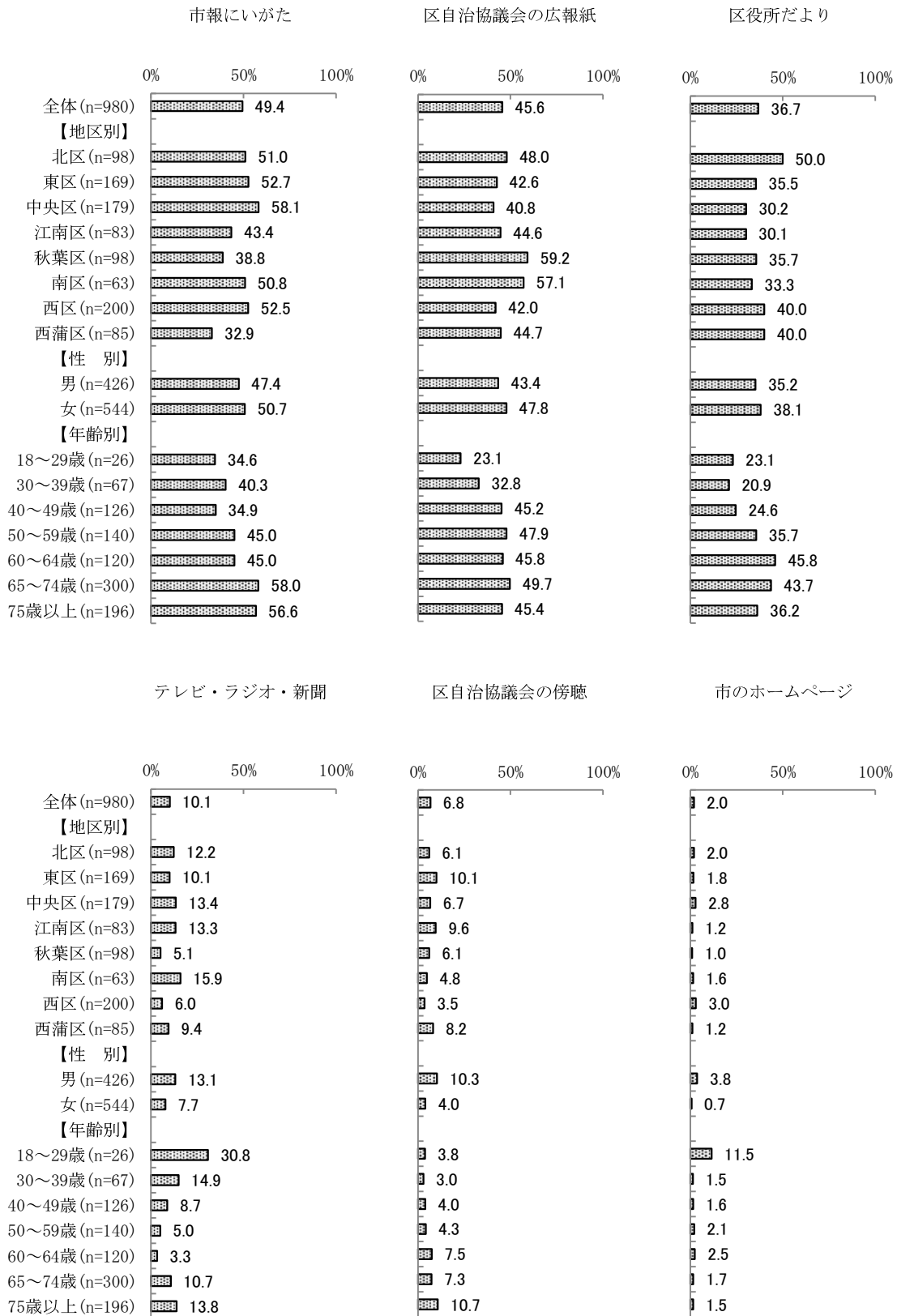


図 3-4 区自治協議会の情報の入手先（地区別/性別/年齢別） 2/2

